

学校推薦型 小論文 出題の意図とねらい

1 出題の意図

社会課題として児童生徒の生体情報をリアルタイムで収集して学習に活かす試みについて取り上げた。技術の進歩により大量のデータ収集と分析が容易になり「科学的な」根拠に基づく指導が可能になる一方、他者には知られたくない個人の内面が露わになってしまう危惧がある。本問は、こうした現状について、さまざまな立場から異なる見解を引き出し、多角的に考察する力を問うことを目的にしている。

事例1は新聞社に配信された記事(報道文)であり、事例2は行政文書(公用文)である。目的や文体が異なる文章であり、取り上げられている事実の記述についても粒度の差がある。二つの事例を比較する場合に、文章作成の目的や文体の相違を考慮に入れる必要があるため、その前提を意識するための設問も出題した。

2 各問いのねらい

問1 同様の話題を取り扱った複数の種類(報道文、公用文)の文章を、比較しながら読み、情報を取り出して、端的に表現する能力を問う。

問2 最新の科学の成果の活用について、論理と感情の両側面から有効性と問題点を考えるにあたり、自身と異なる他者の考え方を想像しながら、自らの考えを整理して表現する能力を問う。